経営比較分析表（令和5年度決算）

宮崎県　日向市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**
-	72.04	4.16	107.93	2,750

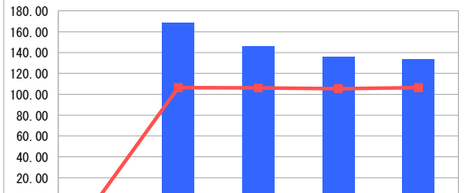
人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
58,687	336.89	174.20
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km²)**	**処理区域内人口密度(人/km²)**
2,425	2.18	1,112.39

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

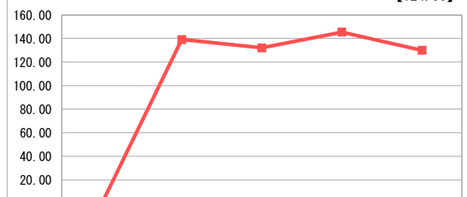
【104.44】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	168.27	145.98	135.73	133.79
平均値	-	106.37	106.07	105.50	106.35

②累積欠損金比率(%)

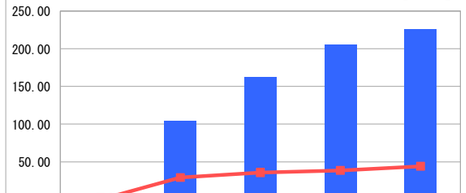
【124.06】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	-	139.02	132.04	145.43	129.89

③流動比率(%)

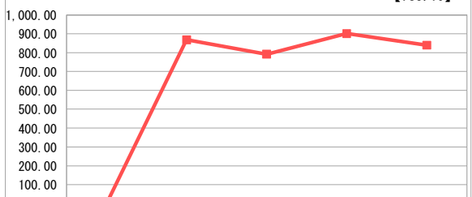
【42.02】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	104.63	162.67	205.65	225.09
平均値	-	29.13	35.69	38.40	44.04

④企業債残高対事業規模比率(%)

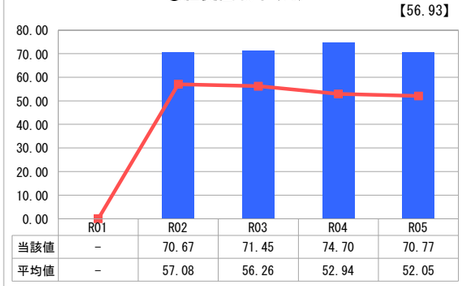
【785.10】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	-	867.83	791.76	900.82	839.21

⑤経費回収率(%)

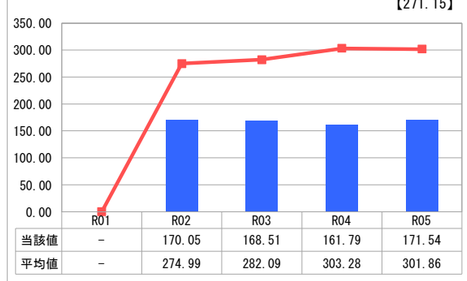
【56.93】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	70.67	71.45	74.70	70.77
平均値	-	57.08	56.26	52.94	52.05

⑥汚水処理原価(円)

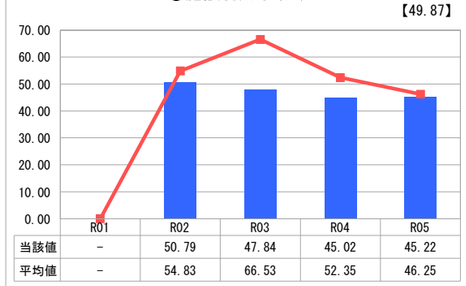
【271.15】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	170.05	168.51	161.79	171.54
平均値	-	274.99	282.09	303.28	301.86

⑦施設利用率(%)

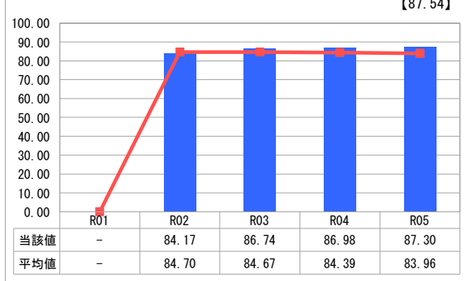
【49.87】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	50.79	47.84	45.02	45.22
平均値	-	54.83	66.53	52.35	46.25

⑧水洗化率(%)

【87.54】

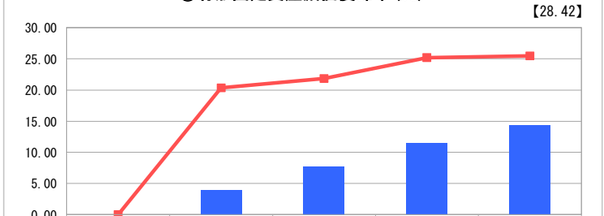


	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	84.17	86.74	86.98	87.30
平均値	-	84.70	84.67	84.39	83.96

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

【28.42】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	3.91	7.74	11.45	14.32
平均値	-	20.34	21.85	25.19	25.46

②管渠老朽化率(%)

【0.08】

	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	-	0.00	0.00	0.00	0.19

③管渠改善率(%)

【0.02】

	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	-	0.25	0.05	0.03	0.03

※　「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率について、経常費用は主に減価償却費の減により減少していますが、経常収益における使用料の人口減に伴う減や一般会計繰入金の基準外抑制のための減が、経常費用の減少額を上回っているため、前年度より1.94ポイント低下しています。
②累積欠損金比率について、累積欠損金は発生していません。
③流動比率について、流動負債は主に年度末における未払金の増により増加していますが、流動資産の現金保有の増等により、流動負債の増加額を上回っており、前年度より19.44ポイントの上昇となっています。現金保有増の要因は、多額の一般会計繰入金の受け入れや資本費平準化債の借入に対し、企業債の元利償還額が減少傾向にあることです。
④企業債残高対事業規模比率について、企業債残高は全て一般会計からの繰入金で負担していることから比率の発生はありません。
⑤経費回収率は、人口減少に伴う使用料収入の減に対し、物価上昇等による汚水処理費の増加のため、前年度より低下しました。類似団体よりは高い数値となっていますが、依然として一般会計繰入金への依存は高く、使用料の適正水準の検討が必要です。
⑥汚水処理原価は、物価上昇等により汚水処理費が増となったことに対し、人口減少に伴い年間有収水量が減少したため前年度より上昇しています。
⑦施設利用率は、前年度からほぼ横ばいとなっていますが、処理能力の50%にも満たない状況が今後も見込まれます。更なる接続世帯の増加に向けた取組や設備の更新時におけるダウンサイジング（規模の縮小）の検討が必要です。
⑧水洗化率は徐々に上昇していますが、下水道事業と比較すると低い数値となっています。公共用水域の水質保全及び使用料収入の確保に向け、接続世帯の増加に向けた取組が必要です。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、類似団体平均や全国平均に比べて低い数値となっていますが、施設の老朽化の進行に伴い、上昇傾向にあります。
②管渠老朽化率及び③管渠改善率については、耐用年数を経過した管渠が生じていないため、当該値の算出はありません。

全体総括

令和５年度は、「日向市農業集落排水事業最適整備構想計画」（令和３～７年度）に基づき、市内の３地区の処理施設の修繕・改築を行う長寿命化対策工事を実施しました。

経営状況について、経常収支比率や流動比率は100%を超えていますが、経費回収率が100%を大きく下回る状況が続いており、汚水処理費を使用料だけでは賄いきれず、一般会計からの多額の繰入金に依存しています。

今後も、更なる収入源の確保が求められることから、使用料改定を着実に進め、経営の健全化を図る必要があります。

将来にわたりサービスの提供を安定的に継続することが可能となるよう、中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」により、引き続き経営基盤の強化と財政マネジメント向上に取り組んでいきます。